

1Day NEWS

2018春 vol.02



株式会社 ディー・エヌ・エー

プログラミングゼミ
遊べる、作れる、学びになる

小学生を明学に招いて、学習アプリ「プログラミングゼミ」を一緒に体験

DeNAのCSR活動:プログラミング教育アプリ「プログラミングゼミ」と「1 Day for Others」とのコラボが実現！
企画立案から当日のプログラム実施まで携わった学生・田村さんからのレポートです。



株式会社ディー・エヌ・エー(以下、DeNA)をご存知の方も多いと思いますが、ゲームの「Mobage」や、マンガ雑誌アプリの「マンガボックス」、横浜DeNAベイスターズの親会社であるなど、多様な事業を展開している会社です。

DeNAは他にも、CSR活動として「プログラミングゼミ」というアプリを利用した小学校低学年から高学年の発達段階に合わせたプログラミング教育を実施されています。「プログラミングゼミ」は、ビジュアルプログラミングを採用しており、パズルや既成プログラムを組み替えたりするなど、基礎から応用、創作まで小学校低学年の子どもたちでも理解しやすく、楽しみながらプログラミングの基礎を習得できる学習アプリです。今回は、この「プログラミングゼミ」を使い小学生にプログラミング教育を行っているDeNAのCSR活動を体験させていただきました。

午前中はまず私たち学生が学びます。
DeNA社員の方から企業説明や取り組んでいる活動等を紹介していただいた後、「プログラミングゼミ」の操作方法や子どもたちへの教え方のポイントを直接レクチャーしていただきました。

午後からは横浜キャンパスのクララ・ラウンジに事前募集した小学生を招待し、午前中に学んだ知識を活かして、DeNAの社員の方と一緒に小学生へのプログラミング講座を運営しました。

当日は朝から雨でしたが、13時からと15時からの2部構成で実施し、どちらの回も19名ずつ計38名の小学生がプログラミング講座に参加してくれました。



13時からの講座では、普段小学生と関わる機会が少ないこともあって、緊張している学生が多かったように感じました。しかし、プログラムを進めていく内に、少しずつ硬さもとれ、小学生と楽しく会話も交えながら、プログラミング体験をすることが出来たのではないかと思います。

15時からの講座では、既に無事やり遂げたこともあり、1回目と比べて見違える程に、皆堂々とサポートできるようになったと思います。サポートをする際、やさしく話しかけることはもちろん、「よく出来たね」「すごいね」と褒めることで楽しく和やかな雰囲気になり、参加してくれた小学生も私たち学生もあつという間に終わってしまったと感じる程、非常に充実した時間を過ごすことが出来ました。

私の担当したグループの小学生が、「私もこの学校に通いたい」と言ってくれた時は、とても嬉しく、1日頑張った良かったと思いました。

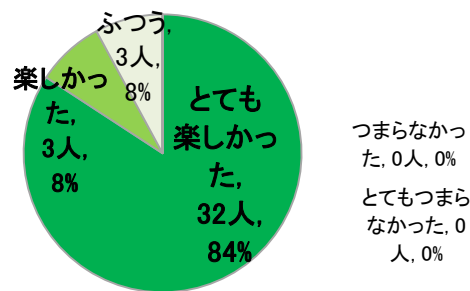


☑ キャラがタッチされた

プログラム終了後の受講者アンケートには、小学生の意見として「とても楽しくてプログラミングに興味を持った」や「スマホにアプリを入れて家でもプログラミングを続けたい」、「また参加したい」などの意見を数多く頂き、保護者の方からも、「大人もプログラミング体験が出来たので楽しめた」や「将来娘を明治学院大学に通わせたいと本気で思った」という嬉しい意見も頂くことができました。



【受講者アンケート】
(お子さんへ)参加してどうでしたか？



私は、1 Day for Others (以下、1Day) の運営委員会に所属しており、今年度は1Dayの新規プログラムの開拓に力を入れてきました。DeNAと提携した本プログラムは、私が出した企画案でもあり、今回新たに実施されることになりました。プログラムを一から企画していく難しさに直面することも多くありましたが、ボランティアセンター職員の方の支えもあり、無事プログラムを成功させることが出来ました。

今回の貴重な経験を今後の学生生活にも活かして、様々なことに積極的に挑戦していこうと思います。

1 Day for Othersは、秋学期にも様々なプログラムの実施が予定されています。ボランティア活動をまず体験してみたいと考えている学生の皆さん、ぜひ興味のあるプログラムに参加してみてください。

1,2年生の方はもちろん、3,4年生の方もぜひお待ちしております！

田村 幸喜 さん(法学部消費情報環境法学科3年)



参加学生からも声が届いています！

- ・プログラミングという少し馴染みのない分野でしたが、DeNAの方が気さくに接してくださり、とてもやりやすい環境を与えてくれました。また、先輩方も気さくに話してくださりリラックスしてできました。
- ・小学生に何かを教えるということはほとんどしたことがなかったのでどのように対応すれば良いか最初わかりませんでしたが、少しのことでも褒めたり大きな声でゆっくり明るく話すことがいいと気付きました。
- ・トレンドであるプログラミングをDeNAのCSR活動を通して経験できたことは、今後の自分の進路選択にも役立つものが多かったです。
- ・初めてだったということもありDeNA講師のみなさんや先輩方に頼ることばかりだったので、ボランティアの回数を重ねていずれ先輩のように自分が引っ張っていけるようになりたいと感じました。



受講生のみなさんと記念写真 (13時の回)



(15時の回)



明治学院大学ボランティアセンター

横浜 045-863-2056

白金 03-5421-5131

1dayvol@mguad.meijigakuin.ac.jp

1 Day for Others
募集プログラム・エントリーはこちらから

Volunteer Portal Site
ボランティアポータルサイト

